2025年8月18日発行 通巻第114号

# 奉行 EXPRESS

The Magazine for OBC Members

2025 SUMMER

読者アンケートに答えてプレゼントGET
抽選で100名様に当たる！

〈特集〉

## 実務担当者必読
## 今年の年末調整は“いつも通り”では済みません!

# 2025年版 年末調整の制度改正と実務対応ポイントを解説

2025年施行 育児・介護に関する法改正特集

## 10月施行内容は実務で“どう対応するか”がカギ!?
## 負担を増やさず、スムーズに改正対応する方法とは

サイボウズ

# 業務アプリが作れて 奉行クラウドと連携できる kintone キントーン

※2025年1月末時点

## ノーコードで業務アプリをつくろう

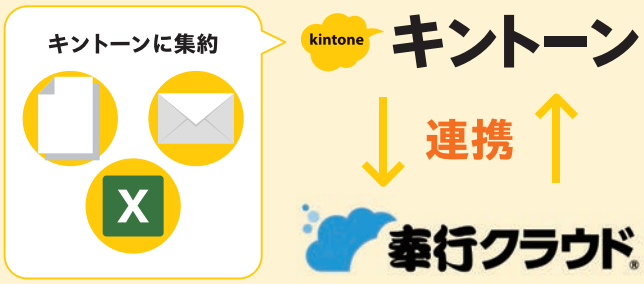
キントーンは、**業務アプリがつくれる、サイボウズのノーコードツール**です。
表計算ソフトよりも**快適**に、専門システムより**柔軟**に、自社でシステムを開発するより**スピーディー&低コスト**に、業務改善をシュシュッとすぐに実行できます。

ここがスゴイ01

紙・Excel・社内メールなど…
**社内共有や転記の手間をキントーンでなくせる！**

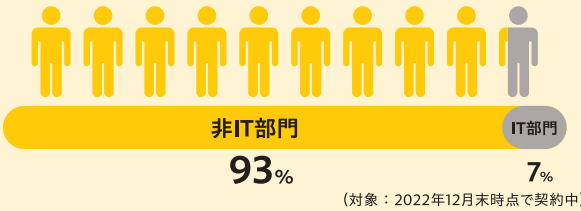
ここがスゴイ02

**キントーン上の情報を奉行クラウドへ自動連携**




## 導入担当者の93%が非IT部門

専門的なスキルや知識がなくても、
業務にフィットした業務アプリをつくれます。




（対象：2022年12月末時点で契約中）

## 業務課題を次々に解決できる

顧客案件管理から、交通費申請、日報など
幅広い業務を改善できます。

作成できる業務アプリの例

顧客管理 / 日報 / 交通費申請 / 受発注管理 / 見積作成 / 経費精算
売上管理 / 契約書管理 / 問合せ管理 / グラフ集計 / タスク管理 / 社員管理

**料金：月額1,800円（税抜）/ 人**　|　**初期費用：無料**

※10ユーザーからご契約いただけます。1ヶ月単位で契約が可能です。※奉行クラウド連携はkintoneスタンダードコース以上をご契約のお客様がご利用いただけます。

## セミナー開催！お気軽にご参加ください

基本が分かる！活用イメージが浮かぶ！ はじめての方向けkintone紹介セミナー ▶

奉行EXPRESSへの感想・ご意見、取り上げて欲しい内容などのメッセージをお待ちしております!

# プレゼント付きアンケート実施中!

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で100名様に素敵な商品をプレゼント!

※当選者の発表は商品のお届けをもって代えさせていただきます。

〈応募期間〉
9/12(金)まで
www.obcnet.jp▶

プレゼント付きアンケートは、奉行Netサービス ▶ ホーム タブ ▶ 特設サポートサイト・コンテンツ から応募できます。

## CONTENTS 2025 SUMMER

2025年8月18日発行 通巻第114号


2 特集
実務担当者必読 今年の年末調整は“いつも通り”では済みません!
**2025年版 年末調整の制度改正と実務対応ポイントを解説**

6 特集 2025年施行 育児・介護に関する法改正特集
10月施行内容は実務で“どう対応するか”がカギ!?
**負担を増やさず、スムーズに改正対応する方法とは**

8 奉行クラウド導入事例 広島県広島市・理研産業株式会社

10 奉行i11をご利用のお客様向け
**奉行iクラウドに関する不安や疑問を解決!**

12 奉行クラウド導入事例 新潟県佐渡市・佐渡汽船株式会社

中綴じ別冊ファイル 保存版 奉行ワンポイント講座

17 クイズで学ぼう! いまさら聞けないビジネスワード
18 **プロフェッショナルひろば** 株式会社WARC 田口 和宏氏
20 特別連載コラム 未来をつくる職場改革(第2回)
22 **スキルアップポイント** ウェルビーイング経営とは?
24 **スキルアップポイント** インボイス制度2年目の課題と対策
26 特別連載コラム 経理の羅針盤〜実務のヒント〜(第2回)

28 食べて楽しむ 脳に喝! レシピ&テーブルゲーム
29 頭のストレッチ(マトリックス)
30 身につけたい 現代人の基礎知識 “働く”をよく知るための「労働経済学」
32 基本を極める ビジネスの心得
33 読者の声、プレゼント付きアンケート告知 他



OBC NETWORK

東京支店 TEL 03-3342-1870(代)
〒163-6030
新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー30F

大阪支店 TEL 06-6367-1101(代)
〒530-0018
大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F

名古屋支店 TEL 052-589-8930(代)
〒450-6325
名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋25F

札幌支店 TEL 011-221-8850(代)
〒060-0003
札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル10F

仙台支店 TEL 022-215-7550(代)
〒980-0811
仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー20F

関東支店 TEL 048-657-3426(代)
〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町1-11-20 大宮JPビルディング12階

横浜支店 TEL 045-227-6470(代)
〒220-0011
横浜市西区高島1-1-2 横浜三井ビルディング15F

静岡支店 TEL 054-254-5966(代)
〒420-0857
静岡市葵区御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル5F

金沢支店 TEL 076-265-5411(代)
〒920-0031
金沢市広岡3-3-11 JR金沢駅西第四NKビル10階

広島支店 TEL 082-544-2430(代)
〒730-0031
広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング4階

福岡支店 TEL 092-263-6091(代)
〒812-0039
福岡市博多区冷泉町2-1 博多祇園M-SQUARE 9F

今年の年末調整は“いつも通り”では済みません!

# 2025年版 年末調整の制度改正と実務対応ポイントを解説

実務担当者必読

2025年から国が行った税制改正によって、給与所得者はその恩恵を受けることができます。一方で、年末調整の実務対応のため新たな業務に直面するのが、給与計算担当者です。年末調整が制度改正され、今年の年末調整は“いつも通り”では済みません。今からどんな改正で、どのような実務対応が必要なのか、そのポイントを押さえ年末調整に向けた準備をスタートさせましょう。

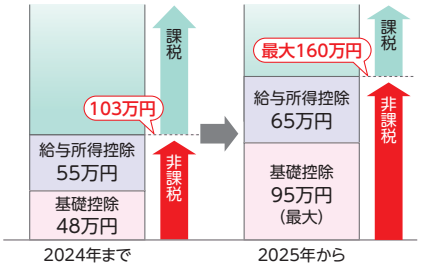
## 今年の年末調整の主な制度改正

### 改正1 給与所得控除と基礎控除が引き上げられる

今回の改正の最大のポイントは、給与所得控除の最低額が55万円から65万円になり、さらに合計所得金額132万円以下(給与収入約200万円以下)の給与所得者の基礎控除が48万円から95万円になったことで、計160万円の控除が受けられるようになったことです。つまり、年収160万円までは所得税が非課税となり、103万円の壁は「160万円の壁」に引き上げられたわけです。

加えて、基礎控除額の判定基準にも変更があります。収入額が132万超655万円以下では、基礎控除額が88万～63万円に逓減し、収入額が655万円超2350万円以下では、基礎控除額が58万円となります。従来、収入額が2350万円以下は、基礎控除額は一律48万円だったため、判定基準が複雑になります。

■「壁」は103万円から160万円に




■改正後の基礎控除

| 合計所得金額(給与収入) | 24年(改正前) | 25・26年 |
|---|---|---|
| 132万円(200万円)以下 | 48万円 | 95万円 |
| ～336万円(475万円) | | 88万円 |
| ～489万円(665万円) | | 68万円 |
| ～655万円(850万円) | | 63万円 |
| ～2350万円(2545万円) | | 58万円 |

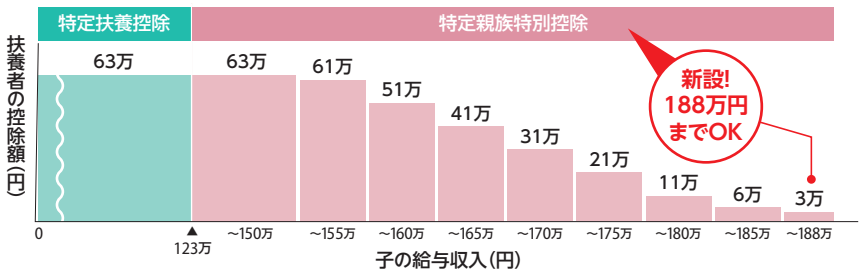
### 改正2 特定親族特別控除が新設される

業務過多に追い打ちをかけそうなのが、新設された「特定親族特別控除」です。

以前から、19～22歳の大学生などを扶養している場合、「特定扶養控除」を受けることができました。ただし、子どもの年収が103万円を超えると、この控除の対象外となっていました。

しかし今年からは、「特定親族特別控除」という新しい制度が導入され、この年収要件が変更されます。具体的には、19～22歳の子どもの年収が188万円以下であれば、控除を受けられるようになります。

さらに、子どもの年収が150万円超188万円以下までは、控除額が段階的に減っていく仕組みとなっており、控除額の判断も複雑なものとなっています。



**他にもこんな改正があります**

**■退職所得の源泉徴収票改正**

従来、退職所得の源泉徴収票は、受給者が役員の場合のみ、本人への交付や税務署と市区町村への提出が必要でしたが、改正後は役員か従業員かを問わず、受給者全員への交付、税務署・市町村への提出が必要となります。

**■住宅ローン控除改正**

2024年に実施された控除の拡充措置が、25年も引き続き適用されます。例えば、特例対象個人(夫婦のいずれかが40歳未満の世代か19歳未満の扶養親族がいる世帯)が認定住宅などを取得して入居した場合、控除対象借入限度額を、認定住宅で4500万円→5000万円にするなど優遇措置を継続します。

**今年は制度がより複雑になり、申告ミスが増える可能性があります!**

## 今年の年末調整で押さえるべき“2つの実務対応ポイント”

2025年は税制改正に伴って、基礎控除の引き上げや新しい控除制度の創設で申告がより複雑になるので、入念なチェックや、従業員のサポートが必要です。実務担当者が押さえておきたい“2つの実務対応ポイント”について分かりやすく解説します。

### 実務対応ポイント1 従業員が記入する「基礎控除額」が正しいか確認!

2025年・26年は、合計所得金額が2400万円以下の場合の控除額を判定する所得区分が、今までの5区分から9区分へと細かくなるため、従業員が誤って記入して申告するケースが増えると予想されます。**従業員が記入する「基礎控除額」が正しく判定されているか、一つひとつ必ず確認しましょう。**

基礎控除申告書記入欄(合計所得2,400万円以下)

▼2024年まで

| 判定 | | | | 定額減税対象 |
|---|---|---|---|---|
| | □ | 900万円以下 | (A) | 48万円 |
| | □ | 900万円超 | 950万円以下 (B) | |
| | □ | 950万円超 | 1,000万円以下 (C) | |
| | □ | 1,000万円超 | 1,805万円以下 (D) | |
| | □ | 1,805万円超 | 2,400万円以下 | 48万円 |

▼2025年・26年

区分は約2倍に!

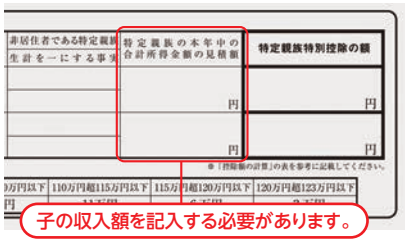
| 判定 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | □ | | 132万円以下 | 95万円 |
| | □ | 132万円超 | 336万円以下 | 88万円 |
| | □ | 336万円超 | 489万円以下 (A) | 68万円 |
| | □ | 489万円超 | 655万円以下 | 63万円 |
| | □ | 655万円超 | 900万円以下 | |
| | □ | 900万円超 | 950万円以下 (B) | 58万円 |
| | □ | 950万円超 | 1,000万円以下 (C) | |
| | □ | 1,000万円超 | 2,350万円以下 | |
| | □ | 2,350万円超 | 2,400万円以下 | 48万円 |

### 実務対応ポイント2 従業員の子の年収記入と控除判定をサポート!

今年から新設された「特定親族特別控除」により従業員は、扶養している子が19～22歳かつ年収が188万円までの場合、控除を受けられます。

ただ、控除を受けるためには申告書に子の年収を記入しなければいけません。また、控除額は年収額をもとに判定しますが、その判定区分も多いため申告ミスが多くなる可能性があります。

特定親族特別控除申告書



**次のポイントを対応し、従業員が控除を確実に受けられるようにしましょう。**

**対応ポイント**

◎子の年収が103万円を超えていても、年齢要件を満たせば188万円まで控除対象になることを周知しましょう。
◎控除を受けるために、「子の年収」を記入する必要があることも周知しましょう。
◎申告書回収後に「特定親族特別控除」が正しく判定されているかを必ずチェックしましょう。

## 制度改正は“これからも続く”―今後の実務対応のヒントとは?

2025年の年末調整の制度改正は、今後の制度見直しの流れを示す発端であると考えられます。

### ◉今後も賃金上昇で控除改正が続く可能性

今回は物価上昇に伴って最低賃金が全国的に上昇する中で、それに対応する形で、「基礎控除額」や「給与所得控除額」の見直しが行われています。今後も賃金が上がれば、控除制度の改正が繰り返される可能性があります。

### ◉子育て世帯支援で控除制度の拡充も

また、「特定親族特別控除」や「住宅ローン控除の改正」など、子育て世帯を支援する制度も増えています。今後は、家族構成やライフステージに応じた控除制度がさらに拡充されるかもしれません。

**手作業や属人化された運用に限界**

制度が変わるたびに、申告書の様式や判定基準も変わります。そのたびに申告ミスや確認作業が増え、手作業や属人化された運用では限界があると感じる場面も増えていくでしょう。

### そこで注目されているのが、年末調整のペーパーレス化!

**今後の実務対応の負担は、年末調整のペーパーレス化で解消!**
**『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』は2025年の制度改正に対応します!**

『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』であれば、2025年の制度改正に対応した申告書様式を自動で反映し、判定ミスや記入漏れを未然に防止します。従業員の申告内容チェックを効率化することができるため、制度改正による業務負担を大幅に軽減できます。

# 制度改正対応も、毎年の業務も『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』で効率化!

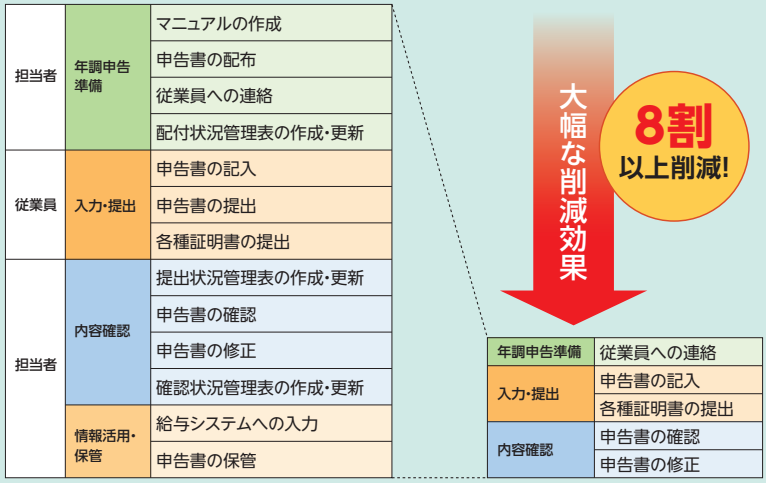
年末調整は担当者にとって大きな負担となる業務のひとつです。近年は、ペーパーレス化で業務改善を図る企業が増えていますが、「従業員がサービスを使いこなせるか不安」というイメージが先行しているお客様も少なくありません。しかし、『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』であれば高度なITスキルは必要なく操作もシンプルで、誰でもすぐに使いこなせるため、今から検討しても今年の年末調整までに十分間に合います。今年こそ「紙」から卒業し、業務の効率化を実現してみませんか。

## 『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』で、年末調整はここまでラクになる!

年末調整は紙での作業が多く、ペーパーレス化によって業務を大幅に効率化できる分野のひとつです。実際に『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』を活用してペーパーレス化を進めた企業の多くが、業務時間を8割以上削減することに成功しています。

奉行Edge 年末調整申告書 クラウド

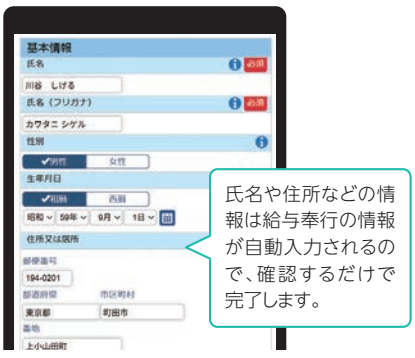
デジタル化による業務プロセスの削減効果



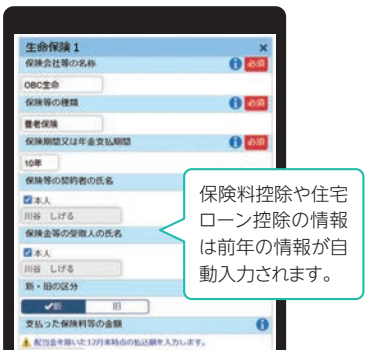

### 従業員はかんたんに申告情報を送信できます!

ペーパーレス化で最も多い懸念は、「従業員が使いこなせるか」という不安です。紙に慣れた従業員がきちんと提出できるのか? フォローが必要になるのでは? そんな心配もあるかと思います。しかし、「奉行Edge 年末調整申告書クラウド」なら、申告情報は自動入力されるため、従業員はほとんど入力することなく提出が完了します。

扶養控除申告書




保険料控除申告書




### 一部の従業員からでもOK! 無理なくペーパーレス化を始められます。

『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』は、一部の従業員から段階的に導入することが可能です。
例えば、検証として管理部のみペーパーレスで申告書を配付するなど、無理なく進めることができます。

## 今からでも間に合う！ペーパーレス化の進め方！

# 今年の年末調整をペーパーレスで進めるスケジュール

## 9月

### 無料体験で実際に操作

『奉行Edge 年末調整申告書クラウド』を実際に操作し、年末調整が問題なく進められそうか確認します。

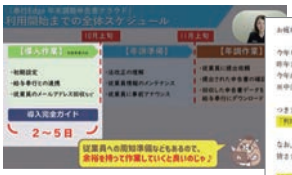
### 社内稟議を通す

見積書をもとに稟議書を作成し、社内の承認を得ます。

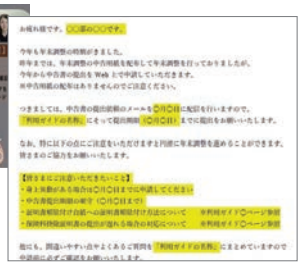
## 10月

### サービス導入・社内告知

サービスの導入は解説動画で迷いなく進められ、従業員への告知は告知用のテンプレートを活用して手間なく行えます。



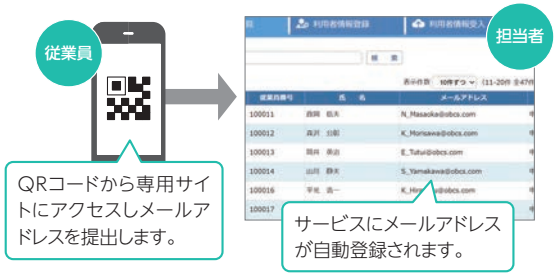

▲導入手順の解説動画



告知用のメールテンプレート▶

### 従業員のメールアドレスの取得

従業員のメールアドレスを社内で管理していない場合は、メールアドレスをWeb上で収集できます。




## 11月

### 提出依頼通知の配信

従業員に申告書提出依頼の通知メールを送信するだけで申告書配付が完了します。

### 回収状況の確認・催促

従業員から提出されると、提出状況が自動更新されます。また未提出者にも数クリックで催促連絡を送れます。

### 申告内容の確認

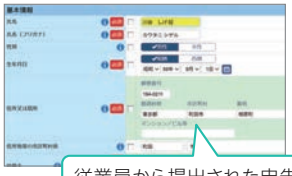
従業員画面では申告情報が自動入力されますが新たに入力された項目は緑色で表示され効率的に確認を進められます。

## 12月

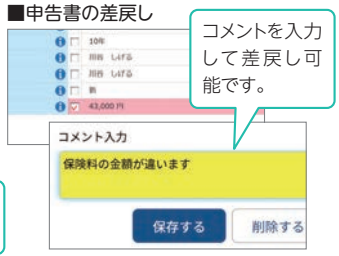
### 申告内容の修正・差戻し

申告内容に誤りがある場合は、代理での修正やWeb上で差戻すことができます。差戻しはコメントを付けて行えるため従業員は迷いなく再提出できます。

■申告書の修正




■申告書の差戻し




### 給与システムにデータ入力

給与奉行クラウド・給与奉行11を一緒にご利用いただいている場合は申告データをそのまま連携できます。

奉行Edge 年末調整申告書クラウド

- 給与計算システム 給与奉行クラウド
- 給与計算システム 給与奉行11

まずは無料体験で

**年末調整申告書クラウドを実際に操作してみましょう！**

お申込みはこちら

**導入のご相談はこちら**

お客様無料ご相談窓口

**0120-336-250**

※10:00～12:00／13:00～17:00(土・日・祝日を除く)

## 10月施行内容は実務で“どう対応するか”がカギ!?

# 負担を増やさず、スムーズに改正対応する方法とは

10月に施行される改正育児・介護休業法は、機械的な対応で完了ではありません。企業ごとに何をどのように運用していくかによって対応負担が変わるため、あらかじめ、社内でスムーズに対応できる方法をルールとして決めておくことが重要です。

### ●10月施行内容で必要になる実務(抜粋)

**1 自社で採用する「柔軟な働き方の措置」の決定**

5つの選択肢の中から、自社で取り入れる「柔軟な働き方を実現するための措置」を決定する必要がある。

- ✓5つのうち採用する措置の検討
- ✓従業員の時差出勤等の申出方法の検討
- ✓新しい休暇の管理方法の検討
- ✓利用している勤怠管理システムでの設定

などが必要

**2 従業員の子どもの年齢を把握し、すぐに抽出できる仕組みの構築**

2歳頃の子がいる従業員へ、「柔軟な働き方の措置」等について個別に周知・意向聴取しなければならないため、特定の年齢の子を持つ従業員をすぐに把握できる必要がある。

- ✓いつ、どのように子の情報を聞くかの検討
- ✓子の情報の管理方法の検討(Excel・システム等)

などが必要

**3 仕事と育児の両立に向けた個別の意向聴取・配慮**

従業員から妊娠・出産の申出があった時や、子どもが2歳頃になった時に、勤務時間・場所などの意向を聞き、できる限り配慮する必要がある。

- ✓誰が意向を聞くのかや、どのように配慮するのかの社内ルール検討

などが必要

**スムーズな対応のためには、あらかじめ負担なく対応できる「運用ルール」を社内で決めておくことが必要!**

▼10月改正にこれから対応する方や、スムーズな10月改正への対応方法を確認したい方はCHECK!▼

☞ 万全に改正対応するために、ぜひご活用ください!

ガイドブック

## 『育児・介護に関わる制度改正 実務対策ガイドブック』

2025年4月、10月に施行される、育児と介護に関する16の法改正について、企業が対応すべきことを一冊にまとめたガイドブックです。育児や介護をする従業員が出てきたときの対策ガイドブックとして、常備しておきましょう。

ガイドブックの主な内容

- ◎16個の法改正の概要と全体像
- ◎4月、10月の改正で企業に求められる実務解説
- ◎実務への対応方法

本誌に同封!

さらに!

☞ スムーズに実務対応するための方法を、ガイドブックに沿ってセミナーでご紹介!

オンラインセミナー

## 『2025年10月 育児・介護休業法改正 対応方法まるわかりセミナー』

社会保険労務士が監修したガイドブックに沿って、今やるべきこと・これからやることを整理し、スムーズに対応する方法をお届けします。
セミナー受講とガイドブックの活用で、10月施行内容にスムーズに対応したい方はぜひご覧ください。

- ●講師…うちやま社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 **内山 美央氏**
- ●開催日時…**8/20(水)、9/4(木)、9/17(水)** 13:30~14:50(オンラインにて開催)

申込みはこちら

URL▶https://www.obc.co.jp/landing/sem-ikuji-guide

## 奉行クラウドは、10月に施行される法改正に対応します!

**■「柔軟な働き方を実現するための措置」に関する対応**
◎時差出勤や時短勤務、フレックスなどで働く従業員の労働時間計算を自動化
◎養育両立支援休暇など、休暇の残日数管理を自動化

対応サービス ＼ 奉行Edge 勤怠管理クラウド

**■育児や介護の両立に関する制度の個別周知・意向確認・配慮に関する対応**
◎対象者抽出を自動化
◎従業員とのやりとりを、すべてペーパーレス化(2025年秋 対応予定)

対応サービス ＼ 奉行Edge 労務管理電子化クラウド

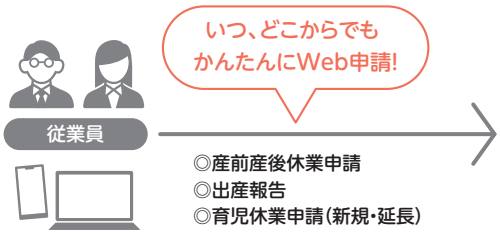
## 4月の改正によってさらに複雑化した育児・介護に関する業務…

# 奉行クラウドなら、「手間なく、漏れなく」運用できます!

4月の改正施行から約4か月が経ち、新設された給付金の対応などが発生している方もいらっしゃる頃かと存じます。
改正がある度に制度や業務が複雑化し、毎回対応していくことに手間を感じている方も多いのではないでしょうか。
また、複雑化した実務に対し、漏れなく対応できるよう管理していくことにも手間がかかりますよね。
奉行クラウドなら、2025年の改正をふまえた育児・介護に関する業務に手間なく、漏れなく対応できます。
本誌では、奉行クラウドで改正を踏まえた業務がどのように手間なく、漏れなく行えるのか、抜粋してご紹介します。

## ① 従業員の育児・介護に関する申請書をペーパーレス化!

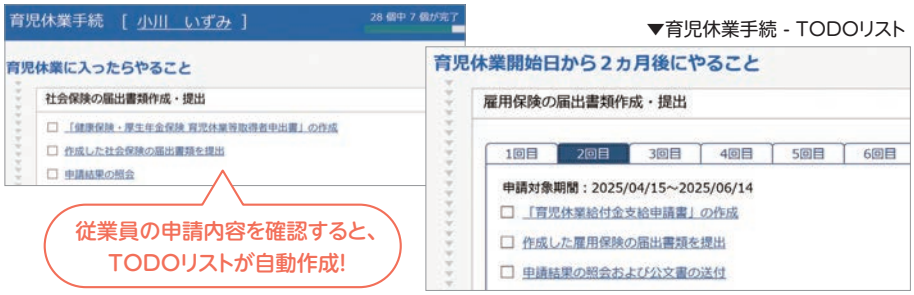
従業員はPC・スマートフォンからかんたんに育児・介護休業の取得申請や、出産報告などを行えます。
従業員から申請が来ると、担当者に通知されます。内容確認・対応するべき申請書は「未確認」として自動でタスク管理されるため、対応漏れを防止できます。



▲人事労務担当者画面

## ② 手続きはTODOリストでクリックしていくだけで完了!

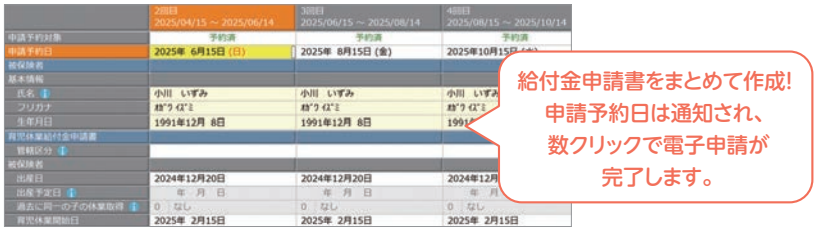
育児休業や介護休業などの労務手続きは、TODOリストを上から順番にクリックしていくだけで漏れなく完了できるため、頻度が多くない手続きでも迷わずに進めることができます。
企業独自のやることもリストに追加できるため、属人化を防止できます。



▼育児休業手続 - TODOリスト

## ③ 2か月ごとの給付金申請は、申請予約で手間なく、漏れなく!

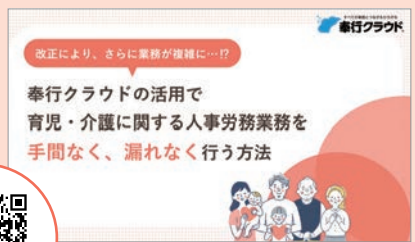
2か月ごとに申請が必要な給付金申請書をまとめて作成、予約できます。従業員からWebで収集した情報をもとに届出書が自動作成されるため、転記や記載方法確認の手間が必要ありません。
申請予約日には通知され、数クリックで電子申請が完了するため、業務を大幅に削減できます。



給付金申請書をまとめて作成!
申請予約日は通知され、
数クリックで電子申請が
完了します。

## 改正を踏まえた育児・介護に関する業務を手間なく、漏れなく行う方法が具体的に分かる!

**奉行クラウドの対応をさらに具体的にご紹介した資料です。**




**こんなお客様にオススメ!**

- ◎改正の度に複雑化する、業務への対応に手間を感じている
- ◎育児・介護に関する実務をうまく回していきたい

無料でブックを見てみる

URL▶https://pages.obc.co.jp/wf-5525-360hr-ikuji-kaigo-kaisei2025-bugyo-cloud-dl-entry

奉行クラウド **導入事例** | 広島県広島市・理研産業株式会社

# DX推進のポイントは「現場」にある
# 経営者の現場理解から
# 見えてきた課題を奉行が解決

理研産業株式会社
常務取締役
DXビジネスサポートユニット ユニット長
**牛尾 祐三氏**

導入製品

- 総務・人事・労務業務システム 総務人事奉行iクラウド
- 給与計算システム 給与奉行iクラウド
- 奉行Edge給与明細電子化クラウド
- 奉行Edge年末調整申告書クラウド

## 検討のきっかけ

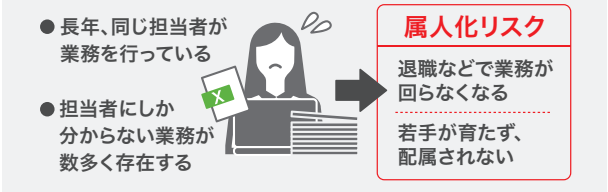
### 「現場」を理解することで見えた、バックオフィスの課題

当社ではコロナ禍より前にモバイルを導入、先行して働き方改革に取り組んできましたが、このままでは「“これからの働く”を十分に実現できていないのではないか」と感じるようになりました。というのも、当社では自社オリジナルのExcel運用が多くあり、誰がどの業務を行っているのかオープンになっていませんでした。“これからの働く”を実現するために、生産性の低い自社オリジナルのExcel運用を無くし、誰がどの業務を行っているのかをオープンにすることで、もっと心地よく働けるのではないかと感じていたのです。

そこで、実際に現場をヒアリングしてみると次のような課題を発見できました。バックオフィスにおいては、長年同じ担当者が業務を行っており、一つ一つの作業でオリジナルの仕組みやルールが存在していました。そのため、その担当者にしかわからない業務が多くあり、退職等によって業務が回らなくなるリスクがありました。また、若手が配属されない状況も続いており、人材面の課題も抱えていました。

このようにバックオフィスの業務がどのような手順で行われていてどのような課題やリスクがあるのかを具体的に理解することで、何をどういう手順でデジタル化すれば「働きやすくなるか」が見えてきたのです。やはり働き方改革のヒントは「現場」にこそあるのです。とはいえ、バックオフィスの場合、営業部門などとは異なり、発言の機会が少ない傾向にあるため、課題が見えにくい。だからこそ、バックオフィスの担当者から意見を聞く場を意識的に設けることが重要だと思います。そうすることでバックオフィス担当者の働き方改革にもつなげられます。“これからの働く”を実現するために、現場の意見を聞きながらバックオフィスの業務改善をする必要があると思いました。

**バックオフィス「現場」の課題を聞くと…**




## 導入の決め手

### 業界標準のパッケージ運用と万全のサポート体制で属人化を防止

理研産業株式会社
DXビジネスサポートユニット
DXサポートグループグループリーダー
兼)総務チーム チームリーダー
**芳野 雅彦氏**

奉行ともう一社を比較検討し、奉行の導入を決めました。決め手は「属人化を防止でき、“これからの働く”を奉行なら実現できる」と感じたことです。奉行は業界標準であり、パッケージで業務を網羅できるため、オリジナル運用をなくすことが可能。もう一社はパッケージで運用できない部分があって別途改修が必要でした。これでは今までの運用とさほど変わらないため、属人化を防止できないと思いました。また、奉行は基幹業務システムとして導入シェアNo.1であることに加え、高い信頼性のセキュリティ体制も導入の後押しになりました。

バックオフィスのシステム入れ替えは、影響する範囲が大きいため、“導入支援”と“導入後のサポート体制”を入念に調べました。導入支援では、2か月半という短期間での導入を目指していたので、それだけに手厚い援助が必要でした。OBCの場合、業務に精通したインストラクターが来社して稼働まで導いてくれるので確実な稼働を実現できるという安心感がありました。近年は導入支援がインターネットだけという企業も多いですが、このような人的な導入支援があれば内情に合ったアドバイスを受けられますし、とても心強いなと感じました。

導入後のサポート体制では、経験の浅い従業員や若手が配属されたときでも、今まで通り業務を行う必要があるので重要です。OBCでは、サポートセンターに問い合わせをすれば実際の画面を見ながら解決まで導いてくれるリモート接続が利用でき、操作に慣れていない従業員がいても確実に疑問を解消できると感じました。そして、ユーザーコミュニティ「奉行まなぼーど」では「活用Tips集」という動画コンテンツが充実しており、年末調整など、年1回の手順を忘れがちな業務も動画を参照するだけで行えるのはとても便利だと感じました。

このように、さまざまな手段で導入支援・サポートを提供してくれているため、安心感がありました。

さらに、段階的な導入が可能なこともポイントでした。例えば、まずは給与明細の電子化を、次に年末調整申告の電子化をというように自社の状況に合わせて都度導入できるのです。このようなスモールスタートで導入可能ならばバックオフィスの業務体制を柔軟に構築でき、最終的に全体最適に繋げられると思いました。

■企業概要

理研産業株式会社

◎所在地…広島県広島市中区大手町4-6-27

◎URL…https://www.riken-21.co.jp/

RIKEN 理研産業株式会社

1939年創業、1952年4月設立。感光紙の販売、図面の青焼きや製本事業からスタート。広島・岩国・岡山・東京に合計10拠点を持ち、「当社の提供するICTサービスでお客様を元気にする」をスローガンに掲げ、ICT機器の販売から利活用を中心としたコンサルティング活動と保守サポートを手がけている。コンサルティング活動ではお客様のありたい姿を落とし込んだロードマップを描き、伴走型支援を行う。従業員数190名。

【受賞歴】2024年 第3回広島ワークスタイルカンファレンス(主催:中国新聞社、広島県社会保険労務士会)「ワークライフバランス推進部門賞」受賞。

## 導入効果

### 総務担当者も従業員も使いやすいから 業務効率化とワークライフバランスを推進できる

理研産業株式会社
DXビジネスサポートユニット
DXサポートグループ 総務チーム
**河野 知代氏**

奉行を導入してからほとんどの業務をパッケージに乗せることができており、近い将来、オリジナル運用をなくして属人化を防止できる体制を構築できそうです。また、総務担当者の業務効率化が大きく進みました。業務効率化が進んだ業務を個別に挙げていけば数え切れません。例えば離職票の作成にかかる時間は30分から15分に、随時改定は20分から10分に、給与支払報告書の作成は5時間から2時間に短縮。退職者への源泉徴収票の入力作業はひとりあたり30分から1分、住民税の届出は30分から5分に。月の給与計算業務では合計約10時間の業務時間を削減できました。給与明細書や源泉徴収票の配付作業は紙が一切なくなり、配付作業にかかっていた5時間がゼロになりました。

制度改正への対応という点では定額減税の前に奉行を導入できていたのは幸運でした。OBCから「定額減税はシステムがすべて自動で行うので何もしなくていいですよ」と案内があり、とても安心しました。従来ではこのような制度改正が行われる際、総務担当者がその内容を理解してシステム依頼書を書き、システムに間違いがないか確認しており「本当に正しく業務が行えているのか」という不安を拭えずにいました。これが自社運用のままだったらと思うと本当にゾッとします。

現在ではこのような業務改善ができたことに加え総務のお役立ち情報を「奉行まなぼーど」や「OBC360°」といったコンテンツで得られるので助かっています。奉行まなぼーど内の「みんなの広場」ではほかのユーザーに質問や回答をするなどしてコミュニケーションを楽しみながら業務を学んでいます。

こうした奉行の導入効果は総務担当者だけでなく従業員にも及んでいます。従業員の年末調整申告がずいぶん楽になっています。具体的には、従業員が入力する画面においては前年度の内容が複写されるようになっているため、どこに何を記入するのか頭を悩ませることが少なくなっています。前年度と同様であればそのまま提出ボタンを押すだけでよく、記入間違いも減らせます。給与明細の電子化も従業員に好評です。従来は給与明細を紙で発行していたので、例えば外出先での確認は困難でした。しかし、現在では給与明細をいつでもどこでも確認できますし、過去の給与明細の出力も簡単にできるようになりました。導入の際には、マニュアルを配付してオンライン説明会を実施したことで、従業員から問い合わせなくスムーズな運用ができました。

このように奉行の導入効果は全社に及んでおり、ワークライフバランスの推進力となっています。こうしたなか、第3回広島ワークスタイルカンファレンス(主催:中国新聞社、広島県社会保険労務士会)において「ワークライフバランス推進部門賞」を受賞することができました。奉行によっていつでもどこでもアクセスが可能な環境を実現できたことがワークライフバランス推進の基盤として評価されたのだと考えています。

**大幅な業務効率化を実現**

**制度改正の不安も払拭**

## 今後の展望

### 電子申告や人事でもDX化を推進。お客様のDXパートナーとして伴走する

当社では育休取得率100%を実現しており、今後もさらに子供・子育ての支援に注力していきます。産休や育休については社会保険免除申請など、スケジュール管理が面倒で手間が多く、この部分も奉行クラウドで改善していきたいと考えています。そして、電子申告の義務化に伴い、法定調書奉行クラウドの導入を検討中。ワンクリックで電子申告できる体制を整える方針です。また、よりよい働き方の実現を目指して人事評価やタレントマネジメントシステムの導入も進めたいと思っています。

当社では2024年7月に「Riken DX Lab」を設置、社内外を問わずDXを浸透、深耕していく決意です。「"これからの働く"を実現する」企業として、これまで培ってきたノウハウやお客様の導入事例だけでなく、私たちの実際の取り組みもご紹介し、モノづくりができるICT会社としてさまざまな商品やサービスを組み合わせて提供していきたいですね。地域社会の持続的な発展を支える企業として、DXのことを相談するなら「やっぱり理研産業!」と言われる存在であり続けたいと考えています。

# 奉行ｉクラウドに関する 不安 や 疑問 を解決！

近年、企業でDXが求められる中、クラウドサービスへの注目が高まっています。奉行シリーズも約7年前に完全SaaS型のクラウドサービス「奉行ｉクラウド」をリリースし、オンプレミス型の奉行ｉ11をご利用のお客様にも安心して移行していただけるサービスとして提供しています。そうした中でも、「クラウドに移行した場合、今、奉行ｉ11で行っている業務は問題なくできるのか」「セキュリティ面で心配はないのか」など、不安や疑問を抱かれている方もいらっしゃると思います。ここでは、そうしたクラウドへの不安、疑問に対して、分かりやすくお答えします!

## クラウドにすると 今行っている業務はどうなる？

結論

### クラウドでも今までと変わらず業務ができます！

奉行ｉクラウドは、奉行ｉ11に搭載されていた機能の後継メニューを引き継いでいるため、移行後も操作や機能に迷わず、すぐに今まで通りの業務を行うことができます。業務を大きく変えることなく、スムーズに移行できるので、安心です。

勘定奉行の場合

給与奉行の場合

**奉行ｉクラウドに移行しても、従来と操作性、使い勝手は変わりません！**

## インターネットが切れたらどうなるの？

結論

### インターネットが切れても入力できます！

入力途中にインターネットが切れても心配無用です。入力を続けることができ、登録した伝票などは次回接続した時に自動登録されます。「今までの処理が無駄になった」ということはありません。

## 複数の画面を立ち上げて処理できるの？

結論

### マルチ画面の操作も今まで通りです！

奉行ｉクラウドはクラウドでありながらマルチ画面やキーボードによる操作を奉行ｉ11と同様に行えます。これは奉行ｉクラウドがアプリケーションベースで設計されているためです。

## クラウドだと処理のスピードが遅いのでは？

結論

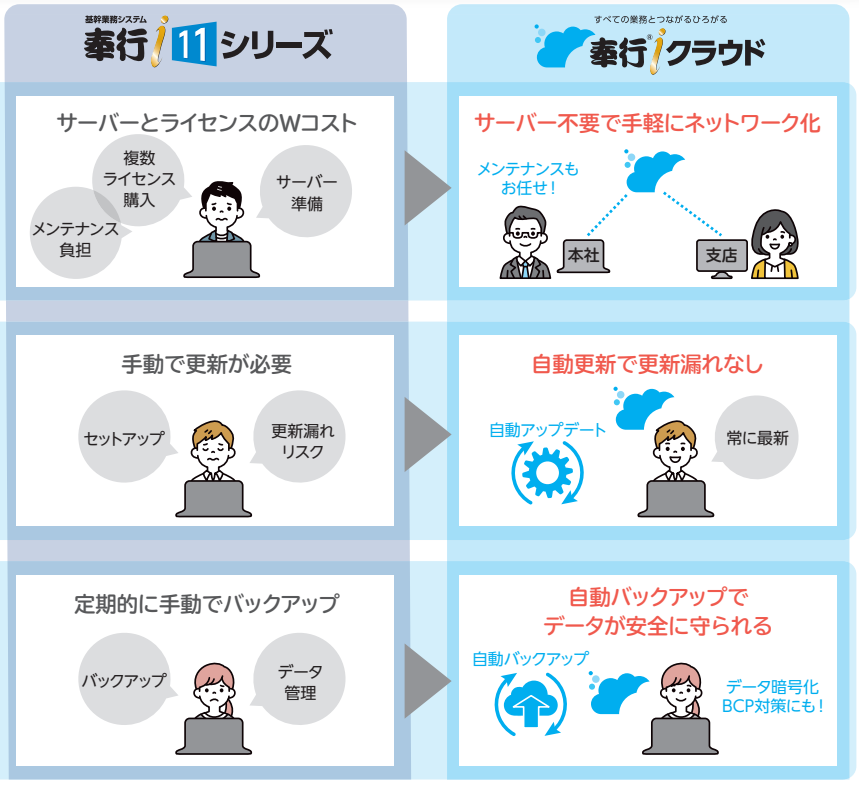
### いいえ、クラウドとは思えない高速処理です！

高速処理を実現する「Azure SQL Database(Premium)」に加え、操作性を飛躍的に高める「Windows Presentation Foundation (WPF)」の採用によって、クラウドとは思えないスピードを実現しています。

## さらに クラウドならではのメリットが盛りだくさんです！

奉行ｉクラウドは、単に奉行ｉ11と同じように業務が行えるだけではありません。プログラムやデータのメンテナンスが不要になり、常に最新の業務環境に自動的にアップデートされるなど、クラウドサービスならではの利点が数多くあります。奉行ｉクラウドにすれば、今より業務がもっと便利になり、より効率的に行えるようになります。

### 奉行ｉ11で必要だったことが、奉行ｉクラウドでは不要に！




## さらに 強固なセキュリティで安全・安心な業務環境を提供します。

自社の大切なデータをクラウドで保管してしまって大丈夫なのか。そうした心配をされる方もいらっしゃるかと思います。その点、奉行ｉクラウドはクラウド基盤に世界トップレベルの堅牢なセキュリティを誇る「Microsoft Azure」を採用。さらに、奉行独自の強固なセキュリティ対策を備え、安全・安心な業務環境を提供します。

**奉行ｉクラウドならセキュリティも万全です！**

### ✓ Microsoft Azureのセキュリティ

**●世界トップレベルのセキュリティ**
米国防総省に次ぐサイバーアタックを防御し、その情報をセキュリティに反映しています。

**●日本政府がガバメントクラウドに選定**
日本政府が推進する共通利用のクラウド基盤として選定されています。

**●国内データセンターのみでBCP対策**
日本の法律に準拠した国内データセンターで厳重に管理・運用し、想定外の災害にも対処できます。

＋

### ✓ 奉行ｉクラウド独自のセキュリティ

**●独自IDによるアクセス認証**
アクセスに利用する独自のIDを統合管理し、認証の安全性を強化しています。

**●暗号化によってデータを強固に保護**
データはすべて暗号化し、他の利用者のデータとは隔離して安全に保管します。

**●第三者評価を取得**
国際認証SOC1,SOC2報告書とISMAP（政府情報システムのためのセキュリティ評価制度）を登録しています。

### 世界トップレベルのセキュリティでデータを保全！

### ☞ 奉行ｉクラウドについてもっと知りたい方へ

奉行ｉクラウドに関する疑問に関して、より詳しい内容を確認できるガイドブックを用意しています。ぜひ、ダウンロードしてご確認ください。

勘定奉行ｉ11 をご利用のお客様向け

給与奉行ｉ11 をご利用のお客様向け

商蔵奉行ｉ11 をご利用のお客様向け

奉行クラウド **導入事例** | 新潟県佐渡市・佐渡汽船株式会社

# 人手不足で子会社の経理が困難に 子会社の経理を引き受ける 仕組みづくりが急務

佐渡汽船株式会社
経理部 次長
**服部 賢一氏**

導入製品

奉行iクラウド
Group Shared Model

## 検討のきっかけ

佐渡島は、「佐渡島の金山」が2024年にユネスコの世界文化遺産に登録されたことで注目を集めており、観光客の増加が期待されているところですが、経理担当者としては業績アップへの期待の一方で、子会社の経理業務へ一層の負荷がかかることが心配でもありました。

当社では、これまで連結決算作業やグループ業績管理を行う中で、子会社の月次決算早期化が課題となっていました。一般的に経理業務は属人化しやすいと言われますが、それは子会社も同様であり、加えて新たな経理担当者の育成も課題でした。子会社においては経理業務とフロント、売店、食堂などの営業現場を兼務というケースがほとんどであり、特に繁忙期においては経理業務が後回しになる傾向があるため、子会社の経理担当者に問い合わせても「今は現場が忙しくて経理業務ができません。待ってください。」と言われてしまい、月次決算締めに多くの時間を要していました。

経理担当者の育成が進んでいない中、佐渡島では本土側と比較して人口減少や高齢化の進行による人手不足が顕著であり、新たな人材採用もままならない状況が続きました。それでも当社の経理担当者が定期的に子会社に出向くなどの支援を行いながら何とか子会社にて経理業務を継続していましたが、互いに限界を感じるようになりました。こうして、現金管理や棚卸などを除いた子会社の経理業務を当社に集約することを決断しました。

しかし、子会社の経理業務を追加で担うには、これまで当社が行っていた既存の連結決算業務やグループ業績管理に労力がかかりすぎていました。

第一に会計情報の収集に伴う手間です。子会社が使用している会計ソフトは統一されておらず、また、その会計ソフトから直接情報を取得できる体制ではなかったため、連結パッケージや月次決算書だけでは業績の概略しか把握できず、連結決算資料の作成や監査対応の際には、その詳細な内容は別途、電話やメールで確認しなければなりませんでした。

第二に勘定科目や仕訳の修正に伴う手間です。子会社の業種は運輸や観光、不動産・ビル管理など多岐にわたっており、使用する勘定科目もグループで統一されておらず、また、子会社特有の仕訳・記帳がありました。このため、連結決算作業においては、勘定科目の組替えや連結修正仕訳など多くの修正作業が必要となっており、こうした手間が影響してグループ全体の業績把握に約1か月もかかっていました。

こうしたなか、このままやり方を変えずに進めてはパンクするという危機感があり、仕組みそのものを変えようと思いました。そこで思い描いたのは子会社の会計情報を当社で直接収集、管理でき、子会社と連携がとりやすい仕組みです。そうなれば、経理業務の労力を減らして決算早期化も実現できる。そんなことを考えながらシステム検討を始めました。

## 導入の決め手

### 奉行クラウドはグループ一体経営推進に資する唯一無二のシステム

奉行 i クラウド Group Shared Model(以下GS)を導入したのはグループ全体の会計業務の基盤となるシステムだと判断したからです。具体的には当社と子会社の両方で、同時に確認しながら業務を進められることが魅力的でした。また、一度のログインですべての子会社の会計情報を確認できるため、必要な情報を手間なく取得できます。このような仕組みであれば子会社の会計情報を当社で直接管理できますし、子会社と連携を取ることも容易になると確信しました。

そして、会計業務からスタートして固定資産管理や債務管理など子会社ごとに、対応する業務範囲を段階的に拡張できることも大きな決め手となりました。これならば、7社ある子会社それぞれの状況を判断して、いつまでに、どこまでの業務を当社に集約するのかについて柔軟な対応を取ることができます。さらに経営幹部がリアルタイムで経営状況を確認できる点も高く評価しました。GSを使うことで、グループとしての数字だけでなく、子会社ごとの決算の中身がいつでもどこでも確認できるほか、時宜に応じた適切な手を打つための材料を得ることが可能になるからです。近年ではグループ一体経営が重要視されており、GSはそれを実現するための最適なツールだと判断しました。

## 導入効果

### グループでの会計基盤の統一によって業務の質が向上 決算早期化で経営判断の迅速化も実現

子会社の経理業務を当社に集約するにあたり、「属人化防止」、「業務の共通化」、「省力化」の仕組みづくりを目指しました。

まず「属人化防止」については当社側の人員配置を工夫しました。子会社1社に当社の経理担当者2人を置くことに加え、一定期間で担当者を変えていくことで情報の偏在を防止するとともに、子会社全社への理解度が深まることも目指しています。GSの仕組みだと関係者全員が必要な時に

■企業概要

佐渡汽船株式会社

◎所在地…新潟県佐渡市両津湊353番地

◎URL…https://www.sadokisen.co.jp/

佐渡汽船株式会社

1913年設立。2022年3月株式会社みちのりホールディングスの子会社に。同年5月東京証券取引所スタンダード市場の上場廃止。当社グループは当社のほか親会社、連結子会社7社で構成されており、佐渡島と本土間の人流および物流とこれに付帯するサービスを手がけている。
佐渡島は歴史的な名所や旧跡、伝統芸能が多く、四季折々で異なる姿を見せる自然は観光客を魅了。佐渡島の金山は2024年にユネスコの世界文化遺産に登録され、注目を集めている。

必要な情報に手間なくアクセスできるため、コミュニケーションをスムーズに取ることができています。

次に「業務の共通化」については、バラバラだった勘定科目の統一に取り組みました。現在では、子会社ごとに必要な情報の管理は補助科目で行うことで、機械的な処理が可能になっています。また、子会社特有の仕訳・記帳を改め、当社と同じルールに統一することで連結決算作業における修正作業の負担軽減に繋がっています。

そして「省力化」については、いかにして伝票入力等の人の手による作業を減らすかを検討しました。奉行シリーズにはAI-OCR機能や自動仕訳、他社システムとのAPI連携機能など便利な機能がありますので、これらを最大限活用することにより、省力化はもちろん、経理業務のスピードアップ、正確性の担保などの効果も得られています。

システム基盤が統一されたことで各種フォーマットが揃い、子会社の統制が効くようになったことも大きな変化です。これまで予算管理を行うフォーマットは各社各様で正確な予実管理ができない状況でした。同じシステムを使用し、同じフォーマットで管理できるようになったことで、管理のしやすさや確認のしやすさに大きな変化を感じています。

また、業務の工夫などの良い取り組みを簡単に横展開できるようになりました。これまで子会社各社が行っていた業務には必ず良い部分がありますが、システムが別々では真似しようにも限界がありました。現在ではシステムが統一されているため、操作方法や業務のやり方を容易に横展開できます。今後は子会社ごとの良い部分をピックアップし、佐渡汽船グループの"ベストプラクティス"をつくっていきたいと思っています。

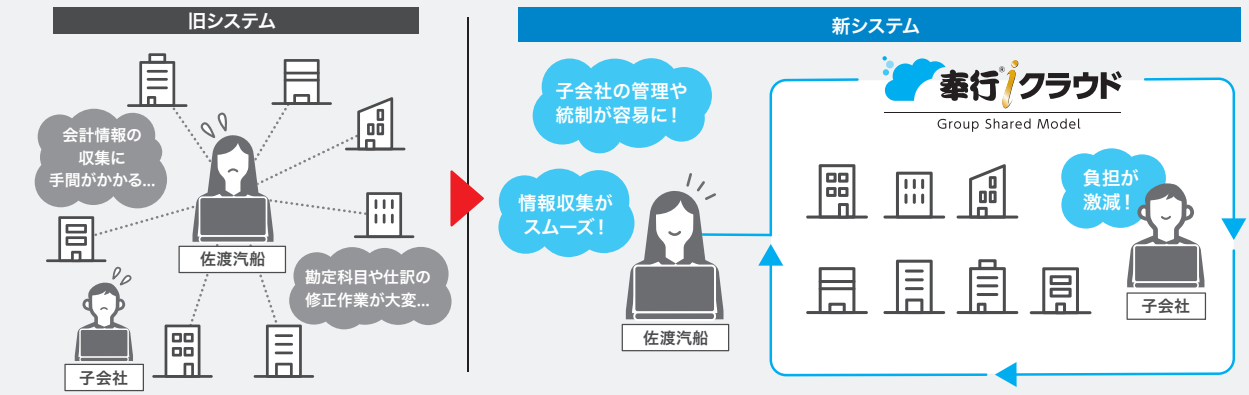
もちろん、子会社の会計情報の収集もスムーズになりました。現在では、子会社の担当者にメールや電話をせずとも取引の元となる証憑に直接アクセスでき、会計情報の確認が手間なく行えています。

また、債務奉行や固定資産奉行と併用することで支払業務や月次決算資料、更には連結パッケージの作成までを当社で行うことも可能になりました。こうした取り組みを行った結果、以前はグループ全体の業績把握に約1か月かかっていましたが、現在は約15日に短縮することができました。

佐渡汽船株式会社
経理部 経理課主任
**西 麻貴氏**

子会社経理担当者の採用難をきっかけとして、子会社の経理業務を当社に集約する仕組みを模索するなかで、長年の課題であった決算早期化を実現できたことはうれしい限りです。季節によって変動の大きい観光業だからこそ、子会社の経営状況を早く正確に可視化できたのはとても大きなことです。現在では、経営幹部が経営状況を素早く把握できるようになり、グループ全体の業績改善などに役立てることができています。

**バラバラだったシステム基盤を統一して、業務改善を実現**




## 今後の展望

# バックオフィス統合からグループ一体経営のさらなる推進へ

総務省によれば2024年の日本の総人口は推計で1億2,380万2,000人と前の年より55万人減り、14年連続の減少となりました。今後も人口減少や高齢化は加速すると見込まれますが、先に触れたとおり佐渡島ではその傾向が顕著であるため、早急な対策が必要です。

そこで、現在、各社で行っている給与計算業務を将来的に当社に集約したいと考えています。経理業務にとどまらない「バックオフィス統合」を図り、子会社側の業務負担を軽くすることで労働環境や待遇を改善し、人材の確保・維持ができる体制を作り、人手不足に対応していければと考えています。また、人件費の把握が当社でできるようなれば、採用計画に基づくコストシミュレーションなども正確に確認できるため、グループ一体経営のさらなる推進も可能になります。

佐渡島には2024年にユネスコの世界文化遺産に登録された金山のほか、豊かな自然や食材、温泉、伝統芸能など、多くの観光資源があり、注目を集めています。こうしたなかで、本土と佐渡島を結ぶ佐渡汽船グループが地域活性化に果たす役割は大きいと自負しています。当社の経理としては、バックオフィス統合やグループ一体経営を通して佐渡へ訪れるお客様へのサービス向上、そして地域活性化に貢献していくことができればと考えています。

すべての業務とつながるひろがる
奉行クラウド × LINE WORKS

# だから 奉行クラウド がおススメです！

## LINE WORKSなら奉行クラウドと連携することができます

**現場から**
**ポチっと出勤**

ボタンタップだけで
出勤・退勤、
外出・再入

残業〇〇時間
超過のお知らせ

給与明細・保険改定通知
源泉徴収票などを受信

住所変更に関する
承認依頼

請求書の支払申請

領収書の提出申請

申請内容に不備が
あった場合の差戻

**出先から**
**ポチっと承認**

普段使いしている
LINE WORKSに
連絡がくるので
連絡を見落とさない

どの奉行クラウド製品が連携できるの？

# LINE WORKSと連携できるのは4製品です！

**奉行Edge 受領請求書DXクラウド**

請求書・領収書の申請を
LINE WORKS上ですぐに承認

**奉行Edge 勤怠管理クラウド**

LINE WORKSで勤怠打刻
勤怠通知もLINE WORKSで確認

**奉行Edge 労務管理電子化クラウド**

従業員からの労務・総務申請を
LINE WORKS上ですぐ承認

**奉行Edge 給与明細電子化クラウド**

毎月の給与明細を
LINEWORKSでかんたん確認

---

すでに

## 連携をご利用中の企業さまの効果

効果 1

勤怠申請をペーパーレス化し
**年474時間削減！**

効果 2

給与明細書の印刷・封入・配付の
**手間から解放**

連携について詳しく知りたい方は**こちら ▶**

問い合わせ先
**LINE WORKS株式会社** 東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ SHIBUYAタワー23F https://line-works.com/

佐渡島、忘るべからず。
さどタイムス

URL https://sadotimes.sadokisen.co.jp/

「さどタイムス」とは…佐渡汽船（株）が運営する、佐渡の特別な時間を提案する、新しい旅のガイドサイトです。オンラインで手軽に、ガイドブックのような佐渡の観光情報をご覧いただけます。

ふる佐渡 佐渡市 ふるさと納税サイト
Operated by 佐渡汽船

URL https://furusato.sadokisen.com/

「ふる佐渡」とは…佐渡市からの委託で、佐渡汽船(株)が運営している、ふるさと納税専用のポータルサイトです。オンラインショッピングをするように、手軽に佐渡市へ寄付ができます。